





アバスチン+シスプラチン+アリムタの治療をお受けになる方へ

★治療スケジュール

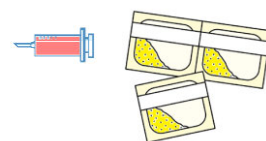
症状や経過に合わせて治療スケジュールが変わることがあります。()内は抗がん剤の成分名です。

お薬の名前	1日目	2~21日目
アバスチン (ベバシズマブ) mg	 初回は90分、 2回目は60分 3回目以降は30分	
吐き気止め	 10分	お休み
アリムタ (ペメトレキセド) mg	 15分	お休み
シスプラチン (シスプラチン) mg	 60分	お休み

【副作用軽減のために使用するお薬】

ビタミンB₁₂ (メチコバル注) : 初回投与7日以上前に投与をします。

葉酸 (パンピタン) : 初回投与7日以上前より服用を開始します。



★起りやすい副作用 これらの副作用が、すべての方に起こるわけではありません。

〈血液検査からわかる副作用〉

白血球減少

白血球は体内へ進入した細菌から体を守る重要な役割があり、

治療開始後 7~14 日頃に最も少なくなり、菌やウイルスに感染しやすくなります。

⇒日頃から手洗い、うがいなどの感染対策を！白血球が少ない時期は人ごみを避けましょう。

貧血

副作用による貧血の場合、めまい、ふらつきなどの症状としてあらわれることがあります。

場合によっては、薬で治療をしたり、輸血をすることもあります。

血小板減少

血小板の数が少なくなることがあります。血小板は出血した時に血を止める働きがあります。血小板が少なくなると、歯肉からの出血や内出血、鼻血などがおこりやすくなります。

⇒血小板が少ない時期は、ケガをしないように注意して下さい。

腎機能障害

抗がん剤の影響で腎臓がうまく働かなくなることがあります。腎臓の働きが悪くなると、お薬が体内から抜けにくくなり、副作用が強くなる場合があります。

⇒500mLのペットボトル、2本ぐらいを目安に水分をとりましょう。

タンパク尿

尿にタンパクが出る場合があります。そのため、定期的に尿を検査し、尿の中のタンパクの有無を調べます。

〈ご自身でわかる副作用〉

悪心・嘔吐・食欲不振

個人差の大きい副作用です。症状に合わせて吐き気止めを使います。

ただし、水分もとれない場合は病院へ連絡して下さい。

⇒食欲がなくても、水分はしっかりとるようにして下さい。

下痢

1日3回以上の排便、もしくは明らかな排便回数の増加がみられた場合は、下痢止めを使用する場合があります。

ただし、発熱・嘔吐などを伴う場合は病院へ連絡して下さい。

⇒脱水を防ぐために、下痢または軟便の時は、水分をしっかりととりましょう。

末梢神経障害

治療を開始した直後に、手足がしびれることもあれば、徐々にしびれが出てくる場合もあります。治療を終えても、しびれが回復するまで時間がかかります。

⇒日常生活に支障が出る時は、主治医に相談して下さい。

倦怠感

治療開始2、3日後に症状があらわれることがあります。また、治療が継続することで徐々に出てくることもあります。症状が強い場合には、お薬で対応することがあります。

⇒無理に動こうとせず、安静にして様子を見て下さい。

高血圧

血圧が上がる場合があります。血圧が高いと頭痛をとまなうことがあるので、場合によっては、血圧を下げる薬を使うことがあります。

⇒血圧は、毎日決まった時間に測定し、記録をつけていきましょう。

出血

鼻や歯肉、膣などの粘膜から出血することがあります。

また、患部から出血することもあります。血が止まらない場合は病院へ連絡して下さい。

傷口が治りにくい

傷口が治りにくくなる場合があります。傷口がひらく、傷口から出血する場合は、病院へご連絡下さい。

⇒歯を抜く、手術をする予定がある場合は、予め主治医にご相談ください。

皮疹

皮膚が赤くなったり、かゆみをともなうことがあります。
症状が強くなった場合は、ぬり薬や飲み薬を使うことがあります。

聴覚障害

シスプラチンを繰り返し点滴することにより、高い音が聞き取りづらくなったり、耳鳴りすることがあります。

⇒治療前に比べ、人の話し声が聞き取りにくく感じる時は、主治医に申し出て下さい。

しゃっくり

しゃっくりがでることがあります。

⇒長く続く場合は、しゃっくりを抑えるためにお薬を使うこともあります。

血管外漏出

点滴部周辺に不快感を感じる、赤くなる、痛みがでる、腫れるなどの症状があらわれることがあります。

⇒痛みや異常を感じたら我慢せず、すぐに医師・看護師にお知らせください。症状は数日続くこともありますので、外用薬などが処方された場合は継続して塗るようにしてください。

★下記の様な副作用症状が発現した場合は病院へ連絡してください。

- ★「尿量が少なくなる」、「ほとんど尿が出ない」、「一時的に尿量が多くなる」、「むくみ」、「体がだるい」（急性腎不全）
- ★「階段を登ったり、少し無理をしたりすると息切れがする・息苦しくなる」、「空咳が出る」、「発熱する」このような症状が急に現れる、または以前から症状があった場合は、症状が急に悪くなる。（間質性肺炎）
- ★「ふるえ」、「悪寒」、「38℃以上の発熱」、「肌のほてり」、「紅潮」（感染症）
- ★「胸の痛み」、「息苦しくなる」、「片方の足の急激な痛みや腫れ」（血栓・塞栓症）
- ★「急な激しい腹痛」、「お腹を押した際に痛む」、「発熱」（消化管穿孔）

※これ以外にも、いつもと違う症状を感じたら病院へ連絡してください。



担当薬剤師